

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：パキスタン

日付：2024年6月30日

報告書名：令和5年度 完了報告書（JPF）

令和5年度 JPF 完了報告書

事業名	ハイバル・パフトゥンハー州における食糧・生活必需品及び学校教育必需品の配布事業 Distribution of FIs/NFIs and Essential Schooling Items in Khyber Pakhtunkhwa Province
事業対象地	パキスタン：ハイバル・パフトゥンハー州チャルサダ群
事業期間	2023年2月28日～2023年7月28日
公的資金種別	ジャパン・プラットフォーム
予算	19,999,926円
実施内容概要	2022年6月にパキスタンを襲った大規模洪水では、全土で多くの被害をもたらした。ハイバル・パフトゥンハー州では、約8万軒が被災し、約300名の死亡者を出した。本事業では、食糧及び生活必需品を配布することで、喫緊の食糧・生活ニーズに対応した。また洪水により学習用品や学校に通うための物資を失った子どもたちに学校教育必需品を配布することで、ドロップアウトや長期欠席による教育の遅れの悪影響を緩和した。
成果の達成度	当初の計画通りに成果を達成することができた。食糧物資の配布について、計画通りに300世帯に物資を配布することができた。また物資の内容は、先行事業時で実施した被災者への聞き取り結果を反映したところ、本事業での配布後モニタリングでは、6割の回答者が「全ての食糧品目」が最も役に立ったと回答した。また回答者のほとんどが、想定通りに、配布物資は3か月の食糧として適量であると回答した。また教育必需品の配布について、サンプルチェックや配布後の学校関係者への聞き取りを通じて、品質の保証された物資を配布することが可能となった。成果の達成においては、各村の有力な協力者から構成される委員会を組織した。同委員会が、受け取り世帯の選定やモニタリングなど、被災者に関連する業務を実施することで、地元からの受容を得ながら事業を実施することが可能となった。
学びと提言	教育物資の配布後に実施したモニタリング調査では、副次的に、翻字用ではカバーできなかった地域において、依然として教育関連施設の被災や物資の提供の必要性が明らかになった。この調査結果は、パキスタンの教育クラスターや行政当局にクラスター会議や災害管理局に報告されたところ、人道支援団体と行政当局の連携による、ニーズ把握の精度の向上が必要である。 また物資配布時には、コミュニティモビライザーとして女性を登用した。女性モビライザーの活躍により、男性スタッフだけではアクセスすることができない女性主体の世帯に対しても、物資を配布することが可能となった。今後も人びとの文化・社会規範を意識して、人身体制を構築する必要がある。